

銭函地区4校だより

つなぐ

令和4年10月

張碓小学校	校長	脇本麻友美
桂岡小学校	校長	山際昌枝
銭函小学校	校長	渡辺琢史
銭函中学校	校長	田中孝二

小中合同研修会を開催しました。

10月18日に銭函中学校体育館において、標記研修会を実施しました（昨年度はコロナ禍によりオンラインで実施）。これは、銭函中学校区4校の教職員で「9年間を通じて、社会で活躍する児童生徒を育成する」ことを目指した、いわゆる小中一貫教育の取組の一つです。学習や生活面での指導を通して、小中学校が共通して取り組むべき課題はどのようなものかを共通で認識することを目的に行いました。

子供を中心に据え、小中学校が一丸となって課題の解決に取り組み、「顔の見える交流」を今後も継続していきます。

（共通して見えてきた課題）

スマートフォンの使用時間が長く、学習時間を圧迫している。

挨拶をはじめ、コミュニケーションをとることが苦手な子供が多い。

学校は家庭教育をどのようにサポートすればよいか。

時間の使い方をどのように指導していけばよいか。



コミュニティ・スクール 着々と進行中

今回の話題

地域として子供たちのために何ができるか、というテーマで話を重ねて4回目。「不審者対策等の面で人手があった方がいいよね」という話を受け、防犯対策に論点を絞って話を進めています。経済的な負担も少なく、無理なく続けられる方法を模索中です。例えば、買い物に行くときに目立つものを着用するとか…。12月の熟議では、より具体的な方法を詰め、地域の皆様方をお願いをすることになると思います。何か良い知恵がありましたら、各学校までご連絡いただけると幸いです。

地域総がかりで子供を育てていくため、この制度が地域の皆様方との橋渡しになればと思っています。

銭函中学校区4校では地域学習で子供たちが銭函地区のお店や会社にインタビューをしたりして、この地域の素敵などところを探すことなどに取り組んでいます。ご協力いただけます企業・事業所様がございましたら、銭函中学校まで電話（☎62-2853）もしくはメール（✉zenibako-jh@otaru.ed.jp）でご連絡ください。

取組の内容に関するお問合せでも結構です。お気軽にご連絡ください。



（アドレス読み取り用QRコード）